

《高校生冬季演劇ワークショップ》高文連石狩支部演劇専門部合同公演

『トミーが三歳になった日』ができるまで

森一生（北翔大学短期大学部）

『トミーが三歳になった日』制作記録

1日目：12月15日（土）

活動時間：9時～15時

活動場所：札幌平岸高校視聴覚教室・研修室・理科実習室

・齊藤光明先生（札幌啓北商業演劇部顧問）より、今回の

ワークショップの趣旨と過去のワークショップについての説明。

・札幌平岸高校の練習形式を紹介し、それを全体のものにする（発声・柔軟・体ほぐし）。

・台本の読み合わせ。

― 主要キャスト希望者で2チームを、その他で1チームを作り、3チームに分かれての読み合わせ

・中瀬勇介先生（札幌山の手高校演劇部顧問）より、演出部・制作部・効果部・装置部・衣装メイク部それぞれの役割についての説明。

・再度のスタツフ希望調査。

・台本の読み合わせ。

― 主要キャスト希望者とクロス希望者ごとにそれぞれの台詞を、演出部にト書きを割り振って

・演出部の進行により、生徒間で台本についての話し合い。

私ども北方圏学術情報センター・舞台芸術研究プロジェクトは、演劇にとつてとても重要である「空間プランの創造」を中心に、「実践的な講習や模擬公演（演技）」などを通して、顧問及び生徒の舞台技術の向上を図るとともに、演技、演出の実際を学びあう」ことを目的にした「高校演劇ワークショップ」を、'06年より開催してきた。（参考『PROBE』第2号 p.101）

'08年には、標記のようなテーマで一月に冬季ワークショップを、そして五月には、札幌市西地区の高校演劇部の生徒を中心に『銀河鉄道の夜』をテキストにしたワークショップを開催している。以下、冬季ワークショップの実施概要を山の手高校の大峠先生の記録を元に、整理しなおしたものである。また、高文連石狩支部演劇専門部事務局長 札幌啓北商業高校齊藤光明先生からは、総括文を寄せていただいている。

— 実際の出来事を劇化した作品であるから、描かれている事実について詳しく知りたい  
作品に描かれている恐怖や負の感情の正体は何なのかを考えたい  
時代・戦争により引き裂かれていく親子や家族の様子を伝えたい

2日目：12月16日（日）

活動時間：9時～16時

活動場所：教育文化会館 リハーサル室A・B

・札幌東高校の練習形式を紹介してもらいつつ、発声・柔軟・体ほぐし。

・参考資料の配布・鑑賞。

— 原作となる絵本『トミーが三歳になった日』、及び作品中の登場人物であるレオ・トミーの回顧文

札幌藻岩高校放送局による、強制収容所の子供たちの絵画の展覧会・強制収容所についてのビデオを観る

・台本の読み合わせ。

— 各パートに分かれて、必要な情報を台本から読み取る  
読み合わせ終了後、上演日に向けた各パートの進行見通しの話し合い

・演出部の進行により、各パートから進行状況と話し合いの内容について発表。

— 演出部：キャスト選考に使用する場面について

制作部：ポスターやパンフレットなど作成する物について

効果部：音響効果・照明効果ともに、台本からの拾



い出しの実施状況について

衣装メイク部：主要キャストの衣装・メイクのイメージについて  
装置部：中心となる舞台背景について

小道具の台本からの拾い出しの実施状況について

・演出部の進行により、台本についての疑問点・意見などを生徒間で話し合い。

・台本の読み合わせ。

— 各キャスト希望者にそれぞれの台詞を、演出部にト書き部分を割り振って

・各パートでの打ち合わせ・事務連絡。

3日目～5日目：12月23日（日）・24日（月）・26日（水）

活動時間：9時～17時

活動場所：ポルトホール 多目的研究室

・3日目からこのワークショップの主催、北方圏学術情報センター・舞台芸術研究プロジェクトのスタッフ、演出担当

の中嶋憲先生（札幌稲雲高校演劇部顧問）が合流。

・北方圏学術情報センター、森 一生による講演「劇場ってどんな『場』」

・台本の読み合わせ。

― 飯の舞台を設けて、台本から各場面状況を読み取り、個人個人の判断で舞台へ出入り

この時点では各キャスト・クロスともに固定せず、演出部をのぞく全員が参加

・キャスト選考。

― 演出部が指定した場面ごとに、候補者の組み合わせを何パターンか試す（12月23日）

主要キャストが全員登場する場面で候補者の組み合わせを再び試し、キャストを正式に決定（12月24日）

決定したキャストによる台本の読み合わせ（クロスの台詞はその他の全員で順番に読んでいく）

・参加者全員での台本について話し合い。

― 上演する事で何を伝えたいのか？

各個人がそれぞれの役・舞台をイメージする事の重要性を確認

・立ち稽古。

― 「(一)プロローグ」より稽古を開始

クロスについては、場面ごとに参加者を募って、それぞれ台詞と動きを割り振っていく

この時点では舞台への出入り確認など簡単な稽古にとどめる

・キャスト選考や立ち稽古と並行して各パートの話し合い。

― 効果部：音響効果・照明効果ともに、台本からの拾

い出しが完了（12月26日）

衣装メイク部：主要キャストの衣装・メイクのイメージが決定・募集開始（12月23日）

装置部：舞台図案を提示して演出部と話し合い（12月24日）

小道具の台本からの拾い出しは完了（12月23日）

・募集開始（12月16日）

・稽古の合間には、舞台上で立つ・舞台上で歩く・呼吸する・発声するなどの練習。

6日目：1月7日（月）

活動時間：9時～16時

活動場所：札幌市教育文化会館 小ホール

・立ち稽古。

― 昨年中に稽古した部分の確認

舞台上での距離感の確認

・各パートに分かれての作業。

― 制作部：パンフレット掲載文書の選定と収集

効果部：音響効果・照明効果ともに計画・Qシート作成

ト作成

衣装メイク部：募集した衣装の選定と管理・衣装計画の練り直し

装置部：パネルに貼りつけるスタイロ製のレン

ガ作成開始

のミーティング

・主要キャスト五名による立ち稽古・同時進行でパートごと

のミーティング

・立ち稽古。

― 場面と場面をつないでいるストーリーを全員で把握しながらの稽古（15ページまで）

7日目：1月8日（火）

活動時間：9時～17時

活動場所：ポルトホール 多目的研究室・バックヤード

・森一生の講演「伊達緑丘『トミーが三歳になった日』地区大会、全道大会、全国大会上演の意味、」

・立ち稽古。

― 前日に引き続き、場面と場面をつないでいるストーリーを全員で把握しながらの稽古（最後まで）

場面ごとに登場するクロスそれぞれに、台詞と役割の割り振りが完了

この時点で、主要キャストの台詞抜け落ちはほぼ見られなかったが、

依然として台詞の単なる暗記にすぎない点が指摘される

・各パートに分かれての作業。

― 制作部：パンフレット・アンケートの作成が完了

効果部：音響効果部による使用候補音源の収集、及び演出部との話し合い

照明効果部と演出部との計画の話し合い・Qシート作成

装置部：バックヤードにてパネル本体、ベッド二種などの作成開始

8日目：1月9日（水）

活動時間：11時半～17時

活動場所：ポルトホール ホール・多目的研究室・バックヤード

・多目的研究室にて立ち稽古。

― 冒頭など、クロスの登場する場面が中心

舞台上に多数の役者が登場する場面での動きの整理  
集団の中で一人一人が均一化している点が指摘される

る

・通し稽古。（33分56秒）

・ホールにての立ち稽古。

― 主要キャストのみが登場する場面が中心  
動きと台詞の必然性をより意識するように指摘される

・各パートに分かれての作業。

― 制作部：1月12・13日のワークシヨップにて配付する資料のリストアップ

完成した資料から印刷を開始（配布用台本・照明効果Qシート）

効果部：音響効果部による使用候補音源の収集、及び編集

照明効果のQシート完成・立ち稽古の中の微調整

装置部：バックヤードにてパネル本体、及びベッド二種の作成

組み立てが完了したベッド二種は、以降の稽古で実際に使用される

舞台図の正式決定

・通し稽古。(36分54秒)

― 集団劇を作るための何かが不足しているとの指摘が出る

それと関連し、

アンサンブルは周りに合わせた均一な動きをする事ではない

ジャズの演奏にも似て、一人の動きや台詞に周りが呼応して影響を与え合うという意識が重要

そう考えるならば、基本的にアドリブは存在しないなどの指摘もなされる

9日目：1月10日(木)

活動時間：9時〜17時

活動場所：ポルトホール ホール・多目的研究室・バックヤード

・ホールにて立ち稽古。

― 冒頭など、コロスの登場する場面が中心

集団の中で各人の動きや人格が均一化している点が再度指摘される

この稽古から、仮ではあったが照明・音響効果が入り始める

・通し稽古。(38分50秒)

― 一人一人が舞台上に立っているという意識の足りなさが指摘される

特に立ち姿の揺れや格好の悪さ・袖幕への接触についての注意

舞台袖での小道具・衣装・台本などの管理を各パートが徹底する点の確認

・ホールにて舞台設営。

― 設営後、高さや舞台上の段差などの確認

・各パートに分かれての作業。

― 効果部：照明効果部による仮照明効果の操作・設営した舞台上での照明位置確認

音響効果部：使用候補音源の収集、及び編集・Qシートの作成

衣装メイク部：衣装の仮決め、及び各キャストに合わせての確認

衣装の管理計画についての確認

10日目：1月11日(金)

活動時間：11時半〜19時

活動場所：ポルトホール ホール・多目的研究室・バックヤード

・多目的研究室にて立ち稽古。

― 動きに変化がつけられたコロスの登場する場面の練習  
ベジュリフ・ハンシ・トミー三人が登場する場面の練習

・ホールにて場面転換の確認。

― 設営した舞台上での出入り練習  
一人一人の出入りの瞬間の汚さが指摘される

・通し稽古

— 感情表現の過小さが指摘される  
— ホールにてテクニカルリハーサル

— 照明効果・音響効果ともにキュー・レベル合わせ

— 並行して各スタッフに分かれての作業。

— 効果部： 照明効果・音響効果の合わせ

衣装メイク部： 衣装を各キャストに合わせたの確認

装置部： バックヤードにて舞台装置の作成と色塗り

11日目：1月12日（土）

活動時間：9時～20時

活動場所：ポルトホール ホール・多目的研究室・バック

ヤード

・立ち稽古

・テクニカルリハーサル

・ミーティング

・各パートに分かれての作業

・リハーサル

・質疑応答

・上演準備

12日目：1月13日（日）

活動時間：9時～20時

活動場所：ポルトホール ホール・多目的研究室・バック

ヤード

・仕込み・シューティング

・テクニカルリハーサル

・場面転換の確認

・ゲネプロ

・上演準備

・上演Ⅰ

・手直し・ミーティング

・上演Ⅱ

・バラシ

13日目：1月14日（月）

活動時間：9時～

13時

活動場所：ポルト

ホール ホール・

多目的研究室・バッ

クヤード

・総バラシ

・道具・衣装類の返

却作業

・アンケート集計作

業

・決算

・全体総括

